

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 ・未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成 ・プレゼンテーション教育・歩み寄り教育・キャリア教育・越え挑戦・ICT教育	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXを地域で実践する推進 ③学校の関係者との協働による郷土教育の推進 ②子ども、自己実現を支える教育の推進 ①豊かな心、健やかな体、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	夢 連帯 感動 「自分らしさが発揮できる学校、自分をみがく仲間とともに」	資質・能力	学びづくり	①④ 学びの深まりを実感できる授業づくり	①対話を通して学びを深める教科指導 ②個と向き合う教科指導	B	・年間5回の研究授業を行い、教科ごとにその教科専門の指導主事により授業について指導を受けながら授業の向上に努めている。 ・生徒の実態として、仲間の意見を聞いても、その意見を自分の意見に取り入れたり、自分の考えをさらに深めていったりするような学びは十分ではない。 ・フォーサイト手帳が有効に活用できるよう継続的に指導している。学習計画を立て、計画的に学習を進めていくことについては個人差がある。 ・1年生を中心に行った探究的な活動が、岐阜県みどりの少年団活動発表会において優秀賞を受賞するなど、各学年において充実した郷土学習が行われた。
					①② 目標を達成する自主学習	①目標設定及び計画の立て方、振り返りの見届け ②フォーサイト手帳によるタイムマネジメントの見届け ③個に応じた支援の充実	B	
					①③④ 探究的な「総合的な学習の時間」	全校:My Passion Project(個人課題の探究) 1年:郷土を知る(自然、産業、歴史等) 2年:郷土の人に学ぶ(キャリア) 3年:郷土を守り拓く(地域協働プロジェクト)	A	
				生き方づくり	①② 継続した「なりたい自分」づくり	①「なりたい自分」と「自己努力」の宣言 ②仲間の生き方から学ぶ場の設定 ③自分らしさを表出する場の設定	A	・生徒は「なりたい自分」を描き、行動目標を決めて生活した。仲間にも目標を伝えたり、仲間と認め合う場を設けたりした。 ・体育祭等の学校行事では、教師側が準備したことをそのまま生徒が行うのではなく、生徒自身で計画し、創意工夫しながら取り組めるような支援を心掛けた。 ・生徒が希望する教職員に相談できる教育相談日を年間4回実施し、一人の生徒を全ての教職員で見守り、励ましていく環境設定を行った。
					①② 主体的・自治的な特別活動	①やりきった事実を積み上げる指導 ②願いと見通しを大切に生徒に任せる指導(体育祭、北稜祭、3年生を送る会)	B	
					②⑤ 個に寄り添い向き合う教育相談	①一人ひとりの居場所づくり(アルプス教室含) ②組織的な教育相談の充実	A	・アルプス教室での学びが必要となるような場合は、関係職員やSC、保護者等で適宜ケース会議を行い、共通理解して進めていくことを心掛けた。
				誇りづくり	③ 家庭との連携	①学校だより、各種広報、SNS等による情報発信 ②学校公開(三大行事、授業参観、PTA総会、学級懇談会、三者懇談、総合的な学習の時間の成果発表)	B	・学校だより等で情報発信したり、学校行事等を公開したりしながら学校の様子を伝えた。また、必要に応じて家庭連絡するなど連携を図っているが、今後さらに充実させていきたい。
					③ 地域との連携	①保小中の連携 ②学校運営協議会との連携 ③独居老人との年間を通じた交流 ④たからまちづくり協議会との連携	A	・年間を通して独居老人との交流(花を贈る。はがきで思いを伝える等)を行った。感謝のお言葉も多数いただいた。
				教師の構え	①②⑤ 対話し自ら動き出す職員集団	①自らの教科専門性を高める教材研究 ②深い生徒理解と見届け、価値づけの指導(終礼時理解研) ③働き方改革につながる複数担任制の推進 ④対話と共有を大切にする職員集団	A	・毎週1回、生徒の様子を交流する時間を設けた。 ・複数担任制(4年目)を行うことで、きめ細かく生徒対応ができるようにした。保護者アンケートからも理解を得つつある(肯定的80%)

学校運営協議会における主な評価内容

・生徒の自治的な活動(校則の見直しについて等)が活発であり、よりよい学校を作るための生徒の主体的な動きが評価できる。

・生徒が学習する様子を参観し、教員との関係性も良く、生徒が前向きに学んでいる。